

農地・水・環境保全向上対策の取り組み事例紹介

三重県下で行われている農地・水・環境保全向上対策の活動事例を3地区紹介します。

かがわふる里活動隊（桑名市嘉例川）

この会では、整備された農地・農業用施設等の適正管理を図り、これらの資源の長寿命化及び農村環境の保全に資する効果の高い取り組みを、改良区、自治会、営農組合と非農業者で連携して本活動に取り組んでいる。

この会では、地域に生息している希少生物の保護を目的に地域の適正管理・生息状況の把握・子供たちへの学習の場として生態系保全活動を行っている。また、地域にある小学校と連携して田植えから稲刈りまでを地域の水田を利用

して本対策に取り組んでいる。



モニタリング調査



小学生による田植え



小学生による稲刈り

二本木・岡地区環境保全会（津市白山町）



子どもたちが楽しそうに生き物を探しています

この会では、大村川流域に広がる二本木・岡集落の「一志米」の産地となっている水田・農業用施設を地域住民の共有財産として、後世に引き継ぐ為に農村環境の保全に取り組んでいる。構成メンバーは農業者、自治会、公民館、老人会、子ども会、PTA、消防団、緑の少年隊、温心会等が活動に取り組んでいる。

本地域の田圃を地域住民の生活の場や癒し空間、とりわけ地域の子供たちが体験活動や学習活動の場として活用できるよう、構成員が生態系保全、景観形成・生活環境保全活動取り組んでいる。



生き物観察前の説明

こめかし

淅の里（伊賀市炊村）

私どもの活動組織は、伊賀市^{かしき}炊村地区の住民が一体となって地域の農業と農業施設、自然を守り次の世代に引継ごうと組織化しました。名称はちょっとむずかしいですが「淅^{こめかし}の里」（こめかしのさと）と呼びます。

対象農用地は約85haで伊賀市管内では上位の面積となっています。

今年は初年度でもあり、制度や組織運営の方法を熟知していなかったため、手探りの状態で活動を始めましたが、役員会を多く開催する中で意思の疎通に努め、活動の充実を図っています。

また、市の指導も受け2回の広報誌「かわらばん」の発行も行い、地域や家庭への活動の浸透に努めています。

こうして構成員の協力を得て、7月にはカバープランツ(センチピートグラス)の植栽、9月にはペットボトルを加工した「もんどり」等を製作して子供たちと赤川水路や金城川水路で生物調査を行った結果、スジエビなど地域で生息数の減少している生き物を確認し、子供たちと水の大切さを学びました。

さらに、10月には水路の法面ヘシバサクラを植栽、11月には地区の大きな目標である「炭焼き窯」作りをスタートさせ、繁茂している竹林から炭を焼き、水質浄化に繋げようと役員・十三会・子供たちと取り組みを始めました。現在、窯の名称を募集中です。

なお、当地区にはNPO法人「互楽会」が、地域内に活動拠点となる「みんなの里の家」を設けて、伝統的農法での米づくりをはじめたのを契機に、都市住民との交流やグリーンツーリズムの推進も目指しています。



小学生による生き物調査



生き物調査する為の手作りの仕掛け



カバープランツの植栽



シバザクラの植栽

農地・水・環境保全向上対策についての情報等は、水土里ネットみえのホームページをご覧ください。
(<http://www.miedoren.or.jp/index.html>)